



# 年頭のあいさつ



さつま町長  
井上章三

皆さん、明けましておめでとございます。

平成18年の新しい年を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年中は町政各般にわたる皆様のご協力によりまして、さつま町政の円滑な推進ができましたことに厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり「平成の大合併」という大きな時代の転換期の中で「さつま町」は、旧宮之城町、旧鶴田町及び旧薩摩町の3町が昨年3月22日に県内では3番目となる合併を行い、人口2万7千人、面積303.43平方キロメートルの新しい町として誕生いたしました。

変革の時代に、前向きに対応すべく合併を成就できましたことは、関係者をはじめ町民の皆様方のご理解とご協力の賜でありまして、初代「さつま町長」として、改めて感謝するとともに厚くお礼申し上げます。

本町は、霊峰紫尾山と町の中央を貫流する川内川、町内各地で湧出している温泉など豊かな自然環境に恵



まれ、それぞれの地域における歴史と伝統を育みながら、北薩地域の中心地として栄えてきたところでございます。

旧3町の長い歴史の中で培われてきた伝統や文化を受け継ぎながら、郷土愛に満ちたそれぞれの特性を活かし、さつま町の将来像であります「人々が織りなす元気で快適な活力あるまち」更には、この地域に住む皆さんが公平感と一体感が持てる

「住んで良かったと思えるまち」の実現を図ることは、私どもに与えられた最大の使命であります。

少子高齢化が急速に進展する時代の中で、新町に対する町民の皆様方の期待は極めて大きいところでありますが、これからの町づくりには、全ての町民が心を一つにして力を合わせ、英知を結集し、多様な地域資源を有効活用することによって、将来に向けた新たな発展を遂げられるものと思っております。

国の構造改革や三位一体の改革、地方分権の進展などにより、地方を取り巻く情勢は大きく変化している中で、自治体自らが解決していかねばならない課題も山積いたしております。

昨年は新町の総合振興計画と行政改革等の計画づくりに取り組みましたが、本年からは実施に向けた本格的な年となります。私どもの「さつま町」が全国に誇れる町となるよう、基礎を固めながら一層の努力を傾注してまいります。

年頭に当たり町政に倍旧のご支援とご協力をお願いし、本年が皆様にとりまして最良の年でありますように、ご祈念申し上げます。